

B-bizLINK と別府インターナショナルプラザの
合併基本事項及び趣意（案）

- 1 合併期日 2019年4月1日
- 2 合併の方法 吸収合併とし、一般社団法人別府市産業連携・協働プラットフォーム B-bizLINK を存続法人とする
- 3 合併後の名称 一般社団法人別府市産業連携・協働プラットフォーム B-bizLINK
- 4 合併後の事務所 主たる事務所 別府市末広町1番3号
従たる事務所 別府市京町11番8号
- 5 合併後の理事長 阿南 寿和（一般社団法人別府市産業連携・協働プラットフォーム B-bizLINK 代表理事）
- 6 合併の効力 合併契約の締結及び変更登記後の定款の成立を条件とする

7 活動趣旨

	B-bizLINK	別府インターナショナルプラザ
目的	別府市の地域の振興に関する諸施策と連携した活動を行い、地域経済の持続的な発展と住民の生活の向上に寄与すること	別府市の国際化の促進及び観光事業の発展に寄与すること
主たる事業	(1)起業・創業の支援に関する事業 (2)人材育成の支援に関する事業 (3)販路開拓支援、新商品・新サービスの開発支援及びビジネスマッチングに関する事業 (4)移住定住等に伴う空き家の活用及びリノベーションに関する事業 (5)別府 i B リーグ（大学・行政・行政との連携）に関する事業 (6)観光地域づくり推進に関する事業 (7)旅行業法に基づく旅行業等及び旅行サービス手配業 その他この法人の目的を達成するために必要な事業	(1)外国人旅行者への観光案内 (2)外国人旅行者への物品販売及びサービスの提供 (3)外国人と地域住民をつなぐ国際交流活動 (4)インターネット及びその他の手段を利用した広報宣伝 (5)外国人の生活相談 (6)これらに附帯する一切の事業

8 沿革

B-bizLINK	別府インターナショナルプラザ
2017年(平成29年)「一般社団法人別府市産業連携・協働プラットフォーム B-bizLINK」として発足。事務所を別府市南部児童館内に開設	1986年(昭和61年)「国際都市別府を考える会」として発会。観光案内所として「別府外国人観光客 SOS 室」を旧別府市立北小学校内に開設
2018年(平成30年)観光マーケティングチーム設置	1988年(昭和63年)SOS室を別府市宮不老泉に移転 1999年(平成11年)SOS室をJR別府駅構内北名店街内に移転するとともに、SOS室を「別府外国人観光客案内所」へと改称 2005年(平成17年)JR別府駅構内コンコース「別府総合観光案内所」内に移転。同年、駅前通り北浜地区に本部機能と観光案内所機能を併せ持つ国際交流プラザを開設 2010年(平成22年)鉄輪地区の地獄蒸し工房鉄輪内に観光案内所を増設 2014年(平成26年)法人化に伴い、団体名を「一般社団法人別府インターナショナルプラザ」に改称 2018年(平成30年)本部機能及び国際交流プラザを京町地区のAPUプラザ内に移転

9 合併の趣意

別府市における訪日外国人観光客の宿泊者数(H30)は、熊本地震前(H27)と比較して約187%の伸びが予想される一方、同時期の国内宿泊客数は約86%であることから、訪日外国人観光客に対する今後の取り組みは別府観光を支える重要な柱となっていく。

各種プロモーションやデータ分析を基に「誘客」を担うB-bizLINKと、観光案内所という受入の最前線で「おもてなし」を担う別府インターナショナルプラザが一つの組織となり、体系的戦略的な取り組みを行うとともに、より一層の旅行者目線でのサービスの向上を図ることで、旅行者の「旅まえ・旅なか」にアプローチし、旅行者数の増加及び旅行者満足度の向上を目的とする。

また、法人単体での運営基盤の弱さを補完し合うとともに、アクティビティの商品化やサービスのマネタイズを徹底することで、持続的なDMO的組織の構築、強化を図ることを目的とする。